ガスメディア
平成29年（2017年）2月10日（金）発行

サイサン

新春賀詞交歓会開催

川本社長挨拶

「アジア各国はものすごい勢いで発展している。今年も複数の国へ進出する。国内は4月の都市ガス自由化をビジネスチャンスとしたい」

挨拶する川本社長

サイサンは1月21日午前11時から、埼玉県さいたま市のパレスホテル大宮において、ガスワングループ新春賀詞交歓会を開催した。

新年挨拶で川本武彦代表取締役社長は「昨年8月の決算では、サイサン本体単体での売上高は562億円、営業利益21億2000万円、ガスワングループ全体の海外を含めた連結決算では売上高839億円、営業利益34億7000万円と、いずれも減収増益となった。これはLPガスの輸入価格下落により、小売価格、卸売り価格を値下げしたことで減収となったが、営業利益は電力を中心とした業容拡大により、増益で終えることができた」とし、「昨年はカンボジアとバングラデシュに進出。アジアは今、ものすごい勢いで発展している。今年も複数の国への進出を計画し、アジア太平洋地域におけるネットワークの構築を進めていく」と述べた。

また、今年から国内独占販売元となった医療機器メーカー、㈱メトラン製造の睡眠時無呼吸症候群治療器「JPAP」を紹介、さらに昨年スタートした「エネワンでんき」の契約数が、7万件を超えたことを発表した。

今年4月の都市ガス自由化については「制度設計の詳細がまだ決定していないところもあり、この場で明確には申し上げられないが、これを大きなビジネスチャンスとして捉え、何らかの形で都市ガスの自由化に参入する。詳細が決まり次第、ご連絡させていただきたい」と述べ、「電力、ガス自由化のトップランナーとして、お客様のライフスタイルにあったサービス、商品を提供、お客様にとって最も身近なホームエネルギーパートナーを今後も目指して行く」と挨拶した。

続いて、清水勇人さいたま市長が「（さいたま市は）医療ものづくり都市構想として、医療機器の分野でさいたま市の様々な技術を持ったすばらしい企業を結びつけ、応援をしていくプロジェクトをやっている。『JPAP』は、その第一号とも言える製品で、小型で持ち運びがしやすくデザインも素晴らしい製品。私からも販売に協力をお願いしたい」と来賓挨拶を述べた。

この後、ガスワン会の池田隆三会長の乾杯の音頭で開宴となり、交歓会では、ゲストとして2017ミス・ユニバース埼玉グランプリの3人が登壇し新年のお祝いに華を添えた。